

## 福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童・生徒の育成に取組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和元年 5月22日

学校名 福井市清水中学校

校長氏名 寺崎 正一

### 1 今年度の目標（学校の約束）

- ①福井市や清水地区の自然環境、地球環境について学習します。
- ②水や電気などの資源を大切に使います。
- ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。

### 2 取組内容

#### ①環境教育・環境学習

- ・委員会での取り組みなどに、自然環境やリサイクルについての学習を取り入れます。また、その内容を発表や掲示物などで紹介します。
- ・花壇やプランターの管理など、校内の緑化に努めます。
- ・環境保全活動として、地域の清掃活動、資源回収に参加します。

#### ②省エネルギー・省資源

- ・使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消します。

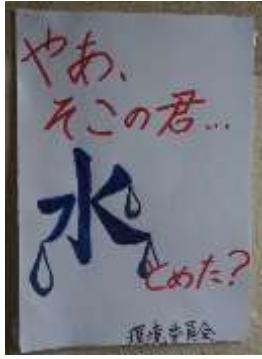
#### ③ごみ減量・リサイクル

- ・学校内の古紙回収に努めます。
- ・ごみの分別を徹底します。
- ・ペットボトルキャップやアルミ缶のリサイクルに取り組みます。

### ★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。）

- ①では、リサイクルのシステムを学ぶことによって、不用になったものを有効に使う方法を知り、環境問題に対する意識を高める。また地域の幅広い年代の人と接し、互いに協力する力を身につける。（相互性、連携性）

## 福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p><b>学校名</b></p> <h1 style="text-align: center;">福井市清水中学校</h1> <p><b>1 今年度の目標（学校の約束）</b></p> <p>①福井市や清水地区の自然環境、地球環境について学習します。      ②水や電気などの資源を大切に使います。      ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。</p>		
<b>2 取組内容</b>		
<p>①環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員会での取り組みなどに、自然環境やリサイクルについての学習を取り入れました。SDGsとは何か、集めたものがどのように活用されていくかといったことを生徒が自分で調べながら学びました。また、その内容を学校祭や集会で発表しました。</li> <li>花壇やプランターの管理をして、校内の緑化に努めました。施設技師の方と協力し、プランターに花の苗植えをし、水やりの当番を決めて花を育てました。</li> <li>環境保全活動として、「地区クリーン作戦」という地域と協力した清掃活動に参加をして、ごみ拾いや草引きを行いました。</li> <li>地域の活性化のための「清水活性化プロジェクト」として、公民館や地域の方と協力してフラワーロード作りをして、緑化運動や環境美化に取り組みました。</li> </ul>		
 地区クリーン作戦	 フラワーロード作り	 学校祭での環境委員会発表
<p>②節電・節水の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い場や廊下に節水・節電のポスターを掲示し呼びかけました。</li> <li>環境委員が、使用していない教室や廊下、トイレなどの電気が消えているかを確認しました。</li> <li>統計委員が毎月、水や電気が学校でどれだけ使われたのかをグラフで表したポスターを作って掲示しました。</li> </ul>	 環境委員会	 水道料金

### ③地域と連携した資源回収、リサイクル活動

- ・清水特別支援学校でリサイクル活動の一つとして取り組んでいるペットボトル集めに全校で協力し、集めたものを渡しました。また、特別支援学校からはペットボトルキヤップをもらいました。そして、校内でも積極的にキャップの回収を呼びかけ、全校生徒にキャップをもってきてもらうためのアイディアを出し合い、たくさんのキャップを集めることができました。環境委員会の委員長が回収業者を持って行き、世界の子どもたちへのワクチンにかかる活動を行いました。
- ・地域と連携した資源回収リサイクル活動として、夏季休業中に地域の方たちと資源回収を行いました。
- ・各学級にリサイクルボックスを設置して不要な古紙の回収に努め、環境委員がまとめリサイクルに出しました。
- ・プラスチックごみを週一回集め、小さく丸めてごみの体積を減らす活動をしました。



キャップ回収



回収したキャップの重さ計測



特別支援学校との交流

#### ★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①や③では、リサイクルのシステムを学ぶことによって、不用になったものを有効に使う方法を知り、環境問題に対する意識を高めました。また地域の幅広い年代の人と接し、互いに協力する力を身につけました。（協力・参加、相互性、連携性）

#### 【具体的効果】

①今までリサイクル活動は行っていたが、それが実際にどのように活用されているか、SDGsとはどういうもので自分たちとどう関係しているかといったことを自分たちで調べて発表することで、より興味を持ち、自分たちの身近な課題であるととらえられるようになりました。また、地区クリーン作戦では、地域の環境の現状を知ることで、それを自分たちの手で維持・向上させていこうとする意識をもつことができました。

3  
見直し

②節電を意識することで、特別教室等で授業を受けるため教室を空ける際に、電気を消し忘れる学級が減ってきています。

③清水特別支援学校との資源交換や環境委員会による呼びかけにより、廃棄物を資源として再利用することへの理解が生徒に深まっています。そのため、積極的に集めて持ってくることができています。古紙回収ボックスも定着し、生徒の資源を大切にしようとする姿勢も高まりました。

#### 【改善点】

- ・活動の状況について、生徒と話し合う時間を設け、生徒が考えたアイディアをもつと実現させながら改善していきたいです。
- ・保護者や地域の方に学校での取組を広めて環境に対する意識を高めていきたいです。